

熊本城 復興に向けて

〈23〉石垣復旧事業に伴う調査

平成28年熊本地震により、県内のさまざまな文化財が被害を受けました。その中でも熊本城は過去に類を見ない規模の被災であったため、平成30年3月に『熊本城復旧基本計画』を策定し、計画的に復旧を進めています。

復旧の過程では発掘調査だけでなく、測量・地質調査など各種の調査を行います。

崩落した石垣は、石材を回収する前に測量調査を実施して、崩落した石材の重なり具合や位置を詳細に記録します。測量調査と石材回収を交互に行い、崩落した石材が無くなるまで繰り返します。回収した石材は、個別の石材調査を実施します。1石ごとに大きさを計測し、表面や加工の有無を観察して、全面的写真撮影を行います。破損状況を調査して、再利用可能かどうかを調査します。また石材正面からの写真を崩落前石垣写真と対比して、崩落した石材がどの位置にあったのかを特定する照合作業を進めます。この照合作業と崩落石材の測量調査を組み合わせ、石垣がどの部分からどのように崩落したのかを明らかにし、復旧方法や安全対策を検討していきます。

崩落しなかった石垣でも変状が著しい部分は、解体を行い積み直します。事前の測量などにより現状把握を行い、解体範囲を決定します。石材とグリ石※を解体するたびに記録調査を行い、各時代で行われた修復の工程や、石材の接触具合や積み方などを調査します。その調査成果を、石垣変状の原因把握と復旧方法の検討のための材料とします。

崩落しなかった石垣は、動きや変状の進行を確認するため、ガラス棒や隙間を測る物差しを石垣前面に貼り付けて、観察を行っています。また石垣背面に発生した地割れの変化を計測するため、機械を用いて情報を送信するなどしています。



▲ボーリング調査風景



▲石材調査風景

また、地形の成り立ちや石垣・建造物がどのような場所に立地しているのかを詳細に検証するために、地質調査を実施しています。表土から数十cmから数mは、築城時に盛土を行っています。表土の下には約9万年前に噴火した阿蘇4火砕流堆積層、さらに下部には100万年以上前の金峰山噴出物の凝灰角礫岩を確認しています。地質調査で得られた結果を基に、より詳細に熊本城の地形を把握していきます。

このように、石垣復旧に伴う調査は多岐にわたります。文化財だけでなく、土木工学や地質学などさまざまな分野の専門家の協力を受け、熊本城全体の文化財的価値を守り、安全・防災対策にも努めて復旧作業を行っています。

※ グリ石…石垣の背後に詰められた小石

(熊本城調査研究センター 山下 宗親)

スポーツの力で熊本を元気に! 熊本ヴォルターズ 市民DAY

74万人の声援で熊本ヴォルターズをB1へ!

日時 3月3日(日) 午後2時試合開始 **場所** 熊本市総合体育館

対戦 広島ドラゴンフライズ

内容(予定)

- 2019ラグビーワールドカップとハンドボール女子世界選手権PRブース
- 美人の湯で知られる植木温泉の手湯
- 熊本城おもてなし武将隊とひこまる隊出演 など

チケット料金 市民割引あり(2階自由席)

市内の中学生以下 ⇒ **無料**

同伴の保護者および市内の学生 ⇒ **特別価格1,000円**
(高校生・大学生・専門学校生)



- ※右記二次元バーコードから事前予約が必要です。
- ※当日は、事前予約で発行されたQRチケットと、住所が確認できるもの(名札、学生証、免許証など)を会場専用ブースで提示してください。
- ※定員に達した場合は、お断りすることがあります。



大きな声で叫ぼう!
レッツ ゴー
Let's go
ヴォルターズ
VOLTERS!



【その他のホームゲーム(3月)】

日時	会場	対戦相手
2日(土)午後5時	熊本市立総合体育館	広島ドラゴンフライズ
23日(土)午後5時	菊池市総合体育館	愛媛オレンジバイキングス
24日(日)午後2時		
29日(金)午後7時	玉名市総合体育館	バンビシャス奈良
30日(土)午後2時		

詳しくは、熊本バスケットボール株式会社(☎096-284-1555)またはチケット専用ダイヤル(☎080-4271-1555)へ。

※スポーツ振興課ではチケットの販売はしていません。(スポーツ振興課 ☎096-328-2724)

熊本市コールセンター

休日在宅番医、イベント情報、区の窓口業務など、いつでもお尋ねください

午前8時～午後8時(年中無休)

ひこまるコール ☎096-334-1500

FAX 096-370-2002 電子メールアドレス 1500@higomaru-call.jp

ホームページ ひこまるコール

検索

配布に関するお問い合わせ
市政だより配布センター

☎0120-666-659

午前8時～午後8時
(土・日、祝日は除く)



2ページ目の女子ハンドボール世界選手権大会の記事は、県内市町村の広報担当の皆さんと作成したものです。私は永田選手、勝連選手に取材をしたのですが、試合の時の迫力とは違い、明るく笑顔が素敵で、ハンドボールの魅力楽しく語っていただきました。この記事を通して、国際スポーツ大会をさらに身近に感じて応援するきっかけになれば嬉しいです。(c)

再生紙を使用しています